

ひとが輝くまち

広報

ゆず



YUZA Town Public Relations

令和元年 No.705

11



今月の話題

新庁舎の実施設設計が完成 2P

臂曲地内岩石採取計画不認可処分をめぐる

公害等調整委員会の審理状況をお知らせします 6P

ほか

新庁舎の実施設計が完成

今年3月に完成した役場新庁舎の基本設計をもとに、建設工事を行うための詳細な図面などを作成する「実施設計」が完成しましたので、概要についてお知らせします。

今後は、実施設計に基づき建設工事に着手する予定です。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



南側外観イメージ

新庁舎の5つの基本方針

- ①経済的でスリムな庁舎 ②町民に親しまれる庁舎
- ③環境にやさしい景観と調和した庁舎
- ④防災の拠点となる安全・安心な庁舎 ⑤職員が働きやすい庁舎

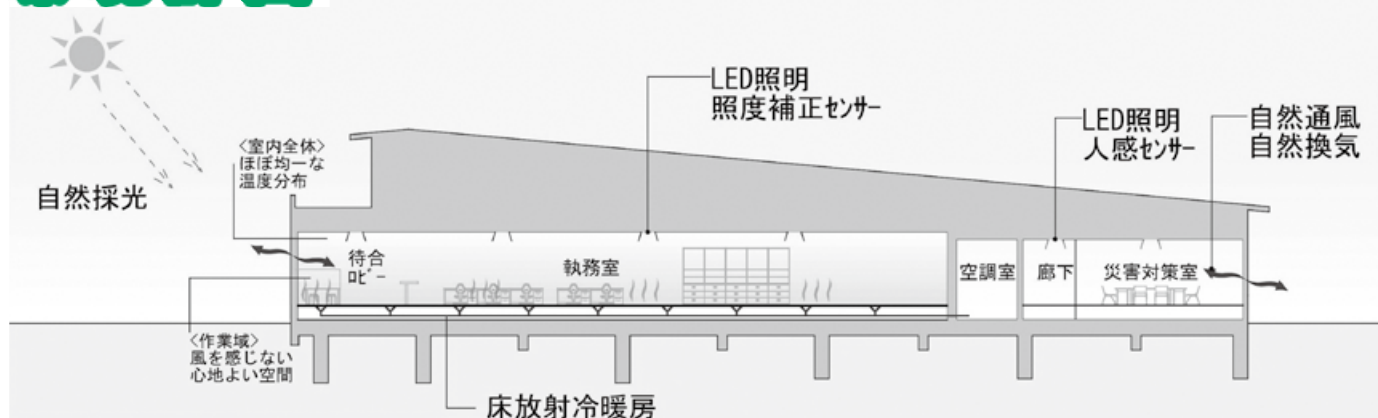
建物の概要

	庁 舎 棟	エネルギー棟
施 設 用 途	町役場庁舎	機械室
延 床 面 積	2,744.43㎡	159.60㎡
階 数	平屋建て	平屋建て
構 造	鉄骨造	鉄骨造
最 高 高 さ	7.6m	5.2m

防災対策

- ・停電時の電源確保のため、3日間運転が可能な自家発電設備を設置します。
- ・耐震構造（一般建物の1.5倍）とし、大地震後でも安全で機能が確保される庁舎とします。
- ・大雨による浸水対策として、庁舎の床の高さを浸水想定高さ以上とします。さらに鉄筋コンクリート造の腰壁や出入口への止水板設置などを計画します。

環境計画



省エネルギー化イメージ図

- ・自然通風、自然換気を積極的に取り入れます。
- ・庁舎全体を高断熱化し、室内体積を小さくすることで、室内全体が快適な温度になるまでの時間をなるべく短くし、冷暖房負荷を軽減します。
- ・高効率LED照明器具の採用、照度補正センサー・人感センサーの設置により電力消費量を削減します。
- ・地下水を活用し、駐車場の無散水消雪を行います。

今後のスケジュール(予定)

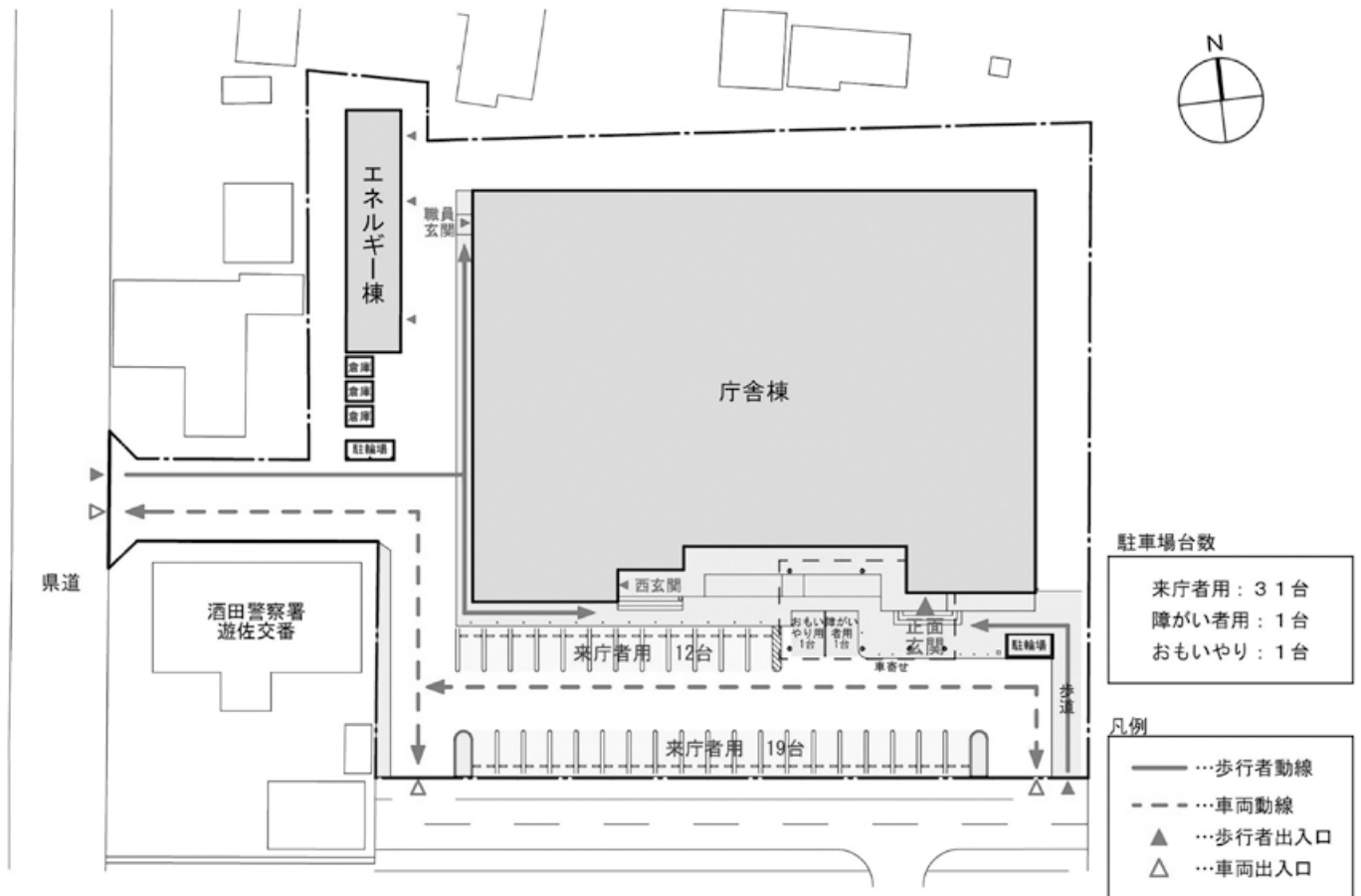
今年度より建設工事に着手し、令和2年度末に完成、令和3年6月から新庁舎での業務開始を計画しています。また、現庁舎の解体工事を行い、公用車及び職員駐車場を整備する予定です。

令和元年度	令和2年度			令和3年度		
12月	4月	8月	12月	4月	8月	12月
建設工事				6月開庁		
		外構工事			解体工事	



南東側鳥瞰イメージ

配置計画



- ・ 障がい者用駐車場、おもいやり駐車場は屋根付きとし、雨や雪にあたらず利用できるようにします。
- ・ 正面玄関前は屋根付き車寄せとすることで、雨や雪にあたらず送迎ができるようにします。
- ・ 庁舎へのアクセス道路について、将来的な道路整備との連携を図ります。



② 第一会議室イメージ図



① 議場イメージ図

普段は会議室として、選挙期間中は期日前投票所として利用します。

町産木材を利用した温かみのある議場とします。

庁舎棟平面図



- ・平屋建てにより行政サービスに係る課を集約します。
- ・東西2つの玄関を設け、東ホール付近には利用頻度の多い町民課、健康福祉課、出納室を配置します。また、議場は西ホールへ隣接させ、傍聴しやすい計画とします。
- ・誰もが利用しやすい庁舎とするため、庁舎内は全面段差をなくし、キッズコーナー・授乳室・多目的トイレなどを設置します。
- ・個室相談室を設け来庁者のプライバシー保護に配慮します。



④ 受付付近イメージ図



③ 南ロビーイメージ図

東側に大型の窓を設け、待合ロビーに自然光を取り入れます。

ロビー天井に町産木材を利用します。ハイカウンター、ローカウンターを適所に設け、利用しやすい窓口とします。

※実施設計の概要は町HPにも掲載していますのでご覧ください。

● 問／総務課新庁舎建設推進室 ☎25-5818

臂曲地内岩石採取計画不認可処分をめぐる 公害等調整委員会の

審理状況をお知らせします

臂曲地内における岩石採取計画を巡っては、秋田県の採石業者に対して行った「遊佐町の健全な水循環を保全するための条例」に定める規制対象事業に該当すると認定した処分の取消しを求めて、町を被告とし山形地方裁判所に提訴された裁判と、山形県が業者に対して行った岩石採取計画不認可処分について公害等調整委員会に取消しを求めて不服裁定を申請した2つで争いが行われています。



上空から見た臂曲地内採石場 (2018年8月撮影)

「公害等調整委員会（以下、公調委）」とは、総務省の外局として設置されている行政委員会です。鉱業、採石業、砂利採取業と一般公益等との調整を図ること（土地利用調整制度）などを主な任務としています。

公調委の審理に至った経緯

業者が公調委に対して、県を相手に不服の裁定申請をした経緯は次のとおりです。

- ▼平成28年11月25日、業者が県に対し、岩石採取計画の認可申請。
- ▼平成28年12月20日、県は認可申請に対し、町条例に基づく規制対象事業に該当しない旨の認定結果通知書が申請書に添付されていないため、書類の不備を理由に拒否処分。
- ▼平成29年2月20日、業者が公調委に対し、県がした添付書類不備を

理由とする拒否処分の取消しを求めて裁定申請。

- ▼平成30年3月19日の審理期日において、公調委は、町条例を巡って山形地裁で争っていることを証明する書類を添付すれば申請に必要な書類の不備にならないとの見解を示す。
- ▼平成30年4月10日、業者が県に対し、町との訴訟の係属証明書を添付した上で当初の申請とほぼ同じ内容で岩石採取計画の認可申請
- ▼平成30年7月10日、県は再認可申請に対し、実体的審査を行った上で不認可処分。

「県が不認可とした理由」

- ① 鳥海山麓の湧水減少や水質悪化により、湧水を水源とする町営上水道施設の機能が損なわれ利用者に影響を及ぼすおそれがあること。
- ② 稲作等に影響を及ぼすおそれがあること。
- ③ 土砂流出等により林道の安全管理や通行に影響を及ぼすおそれがあること。
- ④ 胴腹滝の湧水を活用して事業を行っている水産業に影響を及ぼすおそれがあること。
- ⑤ 鳥海山の自然景観の悪化等に

より地域の観光に悪影響を及ぼすおそれがあること。

- ▼平成30年10月23日、公調委は業者の平成29年2月20日付けの裁定申請を却下。
- ▼平成30年9月21日、業者が公調委に対し、県が行った7月10日付けの臂曲地内岩石採取計画不認可処分について、取消しを求めて公調委に新たに不服裁定を申請。
- ▼平成31年3月25日に1回目の審理が行われ、これまで3回開催、次回は12月13日開催予定。

双方の主張と町の対応

業者の主張は、県が不認可処分とした理由は、いずれも不認可とした理由を基礎づける事実が存在しないもので、採石法33条の4が規定する事由に該当しないから不認可処分を取り消せというものです。一方、県は、不認可処分は正当なものであり、裁定申請の棄却を求めています。

本町としましては、公調委審理の当事者ではありませんが、山形地裁における町条例の行政処分取消等訴訟同様、県に対して健全な水循環の保全の必要性を訴えてまいります。

● 問／企画課企画係 ☎ 72-4523

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

《第59回》 清流のサケと海洋環境



鳥海山・飛島ジオパーク
推進協議会
主任研究員
岸本 誠司 氏

鳥海山の紅葉が深まる頃、遊佐町の月光川、牛渡川、滝淵川、にかほ市の川袋川など山麓の河川ではサケ漁が始まります。サケ漁といっても河川で行われているのは、遡上するサケを捕獲して採卵・ふ化・放流する「ふ化放流事業」が主な目的です。これは、海洋資源の持続性を維持するために明治時代から行われているものです。

鳥海山麓の河川に遡上するのはシロザケです。ふ化場で育てられたサケの稚魚は海の水温が温かくなった3月に放流されます。海に出た稚魚はオホーツク海、北大西洋、ベーリング海、アラスカ湾などの北洋で過ごし、およそ4年後に生まれた河川に帰ってきます。

約1万キロにもおよぶ長旅です。サケが生まれた川に帰ってくる確率は3%前後ですが、近年は全国的に回帰率が下がっています。その理由のひとつに温暖化による海水面温度の上昇が指摘されています。気象庁によると2016年までの約100年間にわたる日本近海の平均海水面水温は1.09度上昇しています。とくに日本海海域では約1.7度上昇し、これは世界平均の0.53度を大きく上回ります。海水温の上昇はサケをはじめとする魚類の生息域や回遊ルートに大きく影響します。サケの回帰率低下には海洋環境の変化に加え複合的な要因が考えられますが、そのメカニズムはまだ明らかにされていません。

鳥海山麓の清流はサケを通じて大海とつながっています。身近な川やそこに棲む生きものは、地球の未来を考える手がかりになりますね。



遊佐町「鮭のつかみどり大会」

古代の息づかいを現代へ

〜遊佐町の文化財紹介〜

遊佐町の文化財 その59

北海道鯨大漁概況之図 十枚組多色刷り版画

明治22年（1889）

ヨーロッパにおいては、ニシンとタラは重要な資源でした。時には、漁場や交易を巡る紛争が戦争に発展することさえありました。日本では、江戸時代の後期には蝦夷地（北海道）におけるニシン漁が確立し、無尽蔵にとれたニシンは、食料よりもむしろ綿花など農作物の肥料に使用され、日本の近代化に大きな貢献をするともに、多くの鯨大尽を生み、各地に「鯨御殿」が建てられました。本町青

塚出身で、後志国高島郡祝津（現小樽市）に渡り、大成功を収めた青山家と茨木家は、白鳥家と並んで祝津の「御三家」といわれました。

今年3月に購入した「北海道鯨大漁概況之図」の原本を旧青山本邸で展示しています。

海上でのニシン漁から陸揚げ、農薬用肥料であるメ粕に加工、米のように俵詰めされ、沖合の大型蒸気船に積み込まれるまでが細密に描かれ、繁栄を極めた北海道のニシン場の活気あふれる様を見てとることが出来ます。

旧青山本邸にて

「青山家と鯨」展開催中

版画の原本展示は令和2年

1月26日(日)までの予定

※休館日：月曜日（祝祭日に当たる場合は翌日）

および12月29日〜1月3日



北海道鯨大漁概況之図

住民主体、実践形式で防災訓練 令和元年度 遊佐地区避難所開設組織研修

10月5日(土)、遊佐小学校体育館で遊佐地区避難所開設組織研修が実施されました。この日は、午前4時30分に震度6強の地震が町を襲ったとする想定で、避難所となる小学校体育館の鍵開けから防災倉庫からの資機材の搬入、避難者の受付や避難スペースの設営、炊き出しなど、実践的な内容の訓練が行われました。また、消防団の協力の下、AEDを活用した人命救助や消火栓の使い方についての研修も行われました。



実践形式で避難所の開設を行いました



AEDによる救命活動は時間との戦いになります

今回の防災訓練には区長会や近隣住民をはじめとした約100名が参加。避難所開設の際の班分けによる役割分担や、避難者の心がけなども指導されました。この訓練が行われるのは昨年に引き続き今年で2回目。地震などの災害は「忘れた頃に来る」と言われるように、いつ起こるかわかりません。いざという時のためにも、継続して訓練を行い、常に自主防災の意識を維持していくことが大切です。

遊佐町四大祭の一つ 佐藤政養祭が行われました

日本に鉄道を敷設するに際し、初代鉄道の助として尽力した佐藤政養先生を顕彰する佐藤政養祭が、10月14日(月・祝)に吹浦駅前で行われました。政養先生は遊佐町升川出身の偉人で、勝海舟の下で学問を学び、多くの業績を残しています。この日は政養先生のご遺族、親族を初め多くの方が参列。政養祭の後には、参列した吹浦・高瀬小学生を対象とした講話も行われました。



吹浦駅前に建つ政養像の前で偉業を称えました

日沿道山形・秋田県境区間 建設促進大会が開催されました

9月28日(土)、秋田県にかほ市ホテルエクセルキクスイにおいて「日沿道山形・秋田県境区間建設促進大会」が開催され、一般参加や由利本荘、庄内地域の関係者等が参加しました。大会では、トラベルデザイン(株)代表取締役社長 須崎裕氏による基調講演のほか、観光・物流経済の発展や防災面における重要性和早期完成の要望等を記した大会決議を採択しました。



「地域の要望を受け止め、開通に向け力を尽くす」と語る国土交通副大臣 御法川氏

フォト トピックス

Photo
Topics



書に想いを乗せて



9月14日(土)からあぼん西浜で高橋絹翠先生書道作品展が開催されています。高橋先生は書道(美文字)研究会・遊佐町芸術文化協会で活躍。11月10日(日)まで17点の作品が展示されていますので、ぜひご覧になってみてはいかがでしょうか。

国替え阻止の立役者を偲ぶ



10月2日(水)、大物忌神社藤岡口ノ宮で荘照居成祭が行われました。神事では三方領地替えの撤回に尽力した矢部駿河守定謙の遺徳を称え、当時を物語った琵琶のひき語りも行われました。

越冬をお手伝い



10月14日(月・祝)、大平山荘で神鹿角切祭が開催されました。今年は少年議員の高橋菜穂さん、鈴木香乃子さんらが鹿の角切に挑戦。切られた角は、縁起物として抽選会でプレゼントされました。



世界で活躍するガーボル氏の演奏が披露されました

10月3日(木)、生涯学習センターでファルカシユ・ガーボルピアノリサイタルが開催されました。ガーボル氏は2012年ハンガリーの最高音楽家賞であるフランツ・リスト賞を受賞し、多くのコンクールで入賞するアーティスト。ヨーロッパを中心に盛んに演奏活動を行っており、日本でも活躍されています。この日はガーボル氏の演奏を聴こうと、342名の方が来場。ショパンの「幻想即興曲」やリストの「ラ・カンパネラ」等10曲を披露され、会場は美しい旋律に包まれました。



原田先生による見事な実演に拍手喝采!

10月6日(日)、遊佐中央公園で「でこワンでこニャンまつり」が開催されました。この日は公認訓練士の原田先生によるトレーニングドッグによる実演や犬の飼い方相談会の他、庄内アニマル倶楽部による「いぬねこ里親会」や庄内保健所による出張譲渡前講習会等が行われました。また、猫のフェイスペイントやアニマルくらふと市、○×クイズなどさまざまなイベントも併催。ワンちゃんニャンちゃん尽くして、ペットたちの幸せな生活を学べる素敵な一日となりました。

日本・ハンガリー外交関係開設150周年 遊佐町合併65周年記念
ファルカシユ・ガーボル ピアノリサイタル

ペットたちともっと“良い”関係を
でこワンでこニャンまつり

まちかど ホット ライン



読者の広場

貴重な体験を糧にさらなる成長を デュアル実践成果発表会

9月30日(月)、遊佐高等学校体育館でデュアル実践の成果発表会が行われました。デュアル実践とは、地元の事業所の協力の下、長期のインターンシップを行う取り組み。この日は参加した生徒20名が、生徒や来賓、お世話になった事業所に向けてポスターセッションの形式で成果の発表を行いました。発表では、心がけたことや大変だったこと、学んだこと、そして今後の進路に向けてなど、デュアル実践に取り組んできた貴重な体験と、それにより得られたものについて立派に発表を行いました。

働く車が大集合！ 第8回ゆざ商工フェア

9月29日(日)、農業者トレーニングセンター周辺で第8回ゆざ商工フェアが開催されました。会場には今年も働く車が大集合！今年には27の企業がブースや屋台、体験コーナーなどを出店。イベントもますます充実し、ものづくり体験や



白バイに乗って敬礼！

ポスターセッション形式で
成果発表が行われました

高校生活を卒業すれば、いよいよ人生の岐路。この経験を活かし、将来社会に出てからも活躍が期待されます。

抽選会の他、野外ではさんまの振舞、Tボールも行われ、会場は大勢の親子連れでにぎわいました。

絵本作家で鳥の巣博士？ 鈴木まもる絵本ライブin遊佐

9月29日(日)、町立図書館で「鈴木まもる絵本ライブin遊佐」が開催されました。ゲストとしてお呼びした鈴木まもる先生は絵本作家であり、鳥の巣研究の第一人者。この日は絵本の作り方から鳥の巣の作り方(?)まで、即興で描くイラストを交えながらお話していただきました。仮組された絵本や貴重な鳥の巣を見せてもらい、参加した子どもたちは興味津々。「どうしてそんなに絵が上手なの?」「絵本ができるまでどのくらいかかるの?」と、たくさん質問が投げかけられました。「鳥の巣がわかれば世界がわかる」という鈴木先生。この絵本ライブを通して、君も世界がわかったかな?

貴重な鳥の巣を手にお話する
先生に、子どもたちも興味津々！

介護のイメージを変える 映画「ケアニン」あなたで よかった」上映会

10月13日(日)、生涯学習センターで映画「ケアニン」あなたでよかった」の自主上映会が行われました。「ケアニン」は、小規模介護施設に勤める新人の介護福祉士が、試行錯誤しながら認知症の利用者と絆を深めていくストーリー。実際の介護現場の活きた言葉で構成され、まるでノンフィクションであるかのような仕上がりになっています。

迫真のストーリーに、来場された皆さんも
真剣な眼差しで見入りました。

大変な仕事というイメージの強い介護職。「ケアニン」にはそのやりがいや魅力が詰まっています。改めて介護とは何かを考える事ができた、心がやさしくなったという感想が多数聞かれました。



齋藤 功一さん(駅前一区)

Kouichi Saitou
昭和62年生まれ

4 年

■一言／

仕事の異動で平成27年に遊佐に移住し、今年で4年目に突入しました。きらやか銀行に平成22年に就職し、県内外を転々と異動して遊佐支店で4店舗目になります。営業を担当しているのでこの4年でだいぶ顔も広くなり、町に出れば誰かしら知り合いと顔を合わせるようになりました。単身赴任で来ていることもあり、あぼん西浜にはよくお世話になっています。

町に来た頃は鳥海山がすぐそこにあることに感動しました。吹浦の方々からお誘いいただき、一緒に登山に参加させていただきました。その時は鳥海湖までしか登らなかったのですが、一度は山頂まで登ってみたいですね！

■町への要望／

仕事帰りにごはんを食べられるようなお店が無いので、半田屋が欲しいです。仙台の学生なら必ず行く定食屋ですので、ぜひお願いします。

Yuza Town Hotline



股をくぐると「はしか」が軽く済むという言い伝えのある仁王様

龍頭寺仁王尊像遷座法要

10月8日(火)、龍頭寺で仁王様の遷座法要が行われました。現在龍頭寺に置かれる仁王様は、蔵岡口の宮随神門(旧仁王門)に祀られていましたが、神仏分離令により明治6年に本堂玄関に移されました。子どもの成長を願う股くぐり

● 龍頭寺

72-2553

の風習のある仁王様ですが、本堂玄関の一部改修工事を行うにあたり、一時的に本堂内にお引越し。本堂に安置された仁王様を調査した所、首に残る墨書により寛政4年(1792)に造立されたことがわかりました。工事の着工は11月15日以降を予定しています。

龍頭寺では、11月9日(土)午後1時から10日(日)正午まで、本堂内に安置された仁王様の足の裏に触れられる特別参拝を催します。また、この日程以外でもご希望があればできるだけ対応します。龍頭寺までご相談ください。

まちかどスナップ



色鮮やかに四季を飾る
旧青山本邸 椿の会作品展



遊佐町暮らしセミナーin東京に18名が参加

集落支援員だより

9月21日に東京都有楽町のふるさと回帰支援センターで「ゆざを楽しむ愉快的仲間達vol.7」が開催されました。毎回、遊佐町に移住してきた方をゲストに迎えて移住したきっかけや遊佐町での暮らしなどをお伝えしています。今回はハーブ農家さんをゲストに畑の開墾や空き家のリフォーム、集落の方々に協力してもらいながら生活している話などをしてもらいました。参加者は8組18名で空き家物件や町の観光情報など色々な相談に対応してきました。遊佐町に移住を考えている方のために引き続き空き家バンク物件の発掘を頑張りたいと思います。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

移住者の話にみんな興味津々でした ☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：Aコープゆざ店2階)

遊佐町国民健康保険についてのお知らせ

町民の4人に1人は国民健康保険（国保）

平成30年度末において、被保険者数は3,273人で、前年度から143人減少しました。遊佐町の人口に占める加入割合は24.3%です。

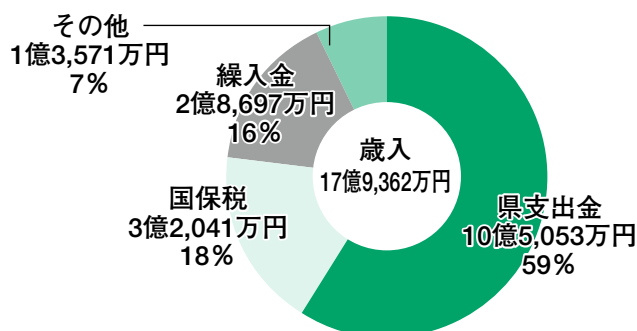
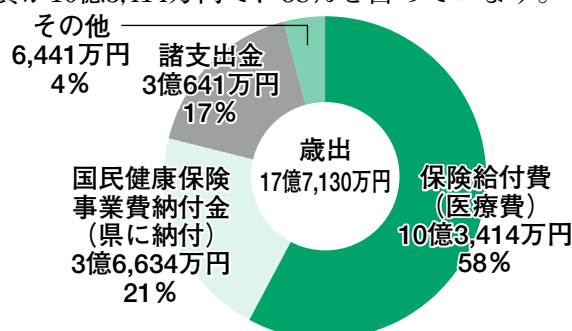
進んでいます、高齢化

一般に、年代が高くなれば医療費がかかる上、収入も年金が主となるため少なくなる傾向があります。このため、被保険者の高齢化が進むと、どうしても国保の財政が厳しくなっています。

	被保険者数	被保険者の内訳	
		0～64歳	65～74歳
平成25年度	3,912人	2,420人	1,492人
平成30年度	3,273人	1,564人	1,709人

平成30年度の会計は？

国保税の収入が見込み額を上回ったことなどにより、約2,232万円の黒字となりました。歳出のうち、医療費が10億3,414万円で、58%を占めています。



国保会計の貯金（基金）の状況は？

平成23～26年度にかけて、国保会計の不足分を補うため、一般会計から2億8,700万円を法定外繰入（法に基づかない繰入）しました。平成30年度は基金などを財源として繰り入れた分を一般会計に全額戻したことから、基金の残高が大きく減少しました。

令和元年度も、国保税などの不足額を補うため基金を取り崩す予定で、このままの状況が続けば基金が底をつく心配があります。基金がなくなり、かつ財源が不足する場合は、県から不足分を借りることができますが、その分を翌々年度に返さなければなりません。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度（予定）
基金の年度末残高	3億1,706万円	1億5,036万円	1億479万円

皆さまのために、国保のために、ご協力をお願いします

●特定健診・がん検診を受けましょう

年1回は健診を受診し、病気の早期発見や生活習慣病の予防に努めましょう。今年度未受診の方も、まだ間に合いますので、ぜひお申込みください。

●家計にやさしいジェネリック医薬品を活用しましょう

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は先発医薬品と同等の効果を持つ医薬品です。開発コストがかからないことから価格が安くなっています。

●お薬手帳を使いましょう

お薬手帳は保険薬局で無料で作ってもらうことができます。薬局で薬を調剤してもらう際、お薬手帳を持参すると薬代が安くなることがあります。

●問／健康福祉課国民健康保険係 ☎72-5875

特定健診・がん検診について 健康福祉課健康支援係 ☎72-4111

新春広報ゆざ 川柳コンテスト



広報ゆざでは、今年も新春川柳コンテストを開催します。来年は子（ねずみ）年。子年は子宝に恵まれる年とされ、「子孫繁栄」を意味するとされています。また、2020年は東京オリンピックが開催される年でもあります。そこで、今年のテーマは「生」「栄」。新年にふさわしい5・7・5を募集します。

●テーマ／「生」「栄」

作品に「生」「栄」という文字や、連想させるもの（例：ライフ、活躍、初孫、など）を必ず入れてください。

●応募規定／

- 遊佐町に住所を有する方、または町内の事業所で働いている方であること。
- 本人創作で未発表のものであること。
- 投稿は1人2句までとします。

●応募方法／住所・氏名・年齢・電話番号を必ず明記の上、下記までハガキ、メール、FAXのいずれかでご応募ください。

応募先：〒999-8301 遊佐字舞鶴211
遊佐町役場企画課企画係

E-mail: koho@town.yuza.lg.jp FAX72-3315

※広報ホットラインのハガキでのご投稿も可能です。

※お題を無視したものや、住所・氏名・年齢・電話番号が明記されていないものは無効となりますのでご注意ください。

※ペンネームも使用できますが、必ず本名もご記入ください。

●応募締切／11月29日(金)必着

●表彰／最優秀賞 1点 優秀賞 3点 特別賞 1点

副賞：図書カードと各川柳の内容に合わせた「面白いもの」

●発表／広報ゆざ令和2年正月号（12月27日(金)発行予定）

●問／企画課企画係 ☎72-4523

遊佐町四大祭のひとつ 藤蔵祭

庄内砂丘の植林に尽力した佐藤藤蔵を称える「藤蔵祭」を開催します。入場無料で、どなたでも参加できます。

●日時／11月10日(日)午前10時～

●場所／藤崎小学校

●内容／神事、藤崎小学校児童による発表・劇

●問／企画課企画係 ☎72-4523

遊佐町フードフェスタ2019

町内の美味しい食材が大集合し生産者から直接お話を聞きながら、農水産加工品の買い物や試食ができます。皆さんの声が遊佐町の特産品をつくります！今年度は、新たにスタンプラリーを実施します。たくさんのご来場、お待ちしております。

●日時／12月1日(日)午前11時～午後2時

●場所／パレス舞鶴

●内容／①町内特産品の試食と販売

②食のイベント目白押し

★メジカの鮎振舞い・あわび振舞い

★サクラマス養殖事業の紹介と振舞い（マルハニチロ）

★マンガリッツァ豚取り組みの紹介

③スタンプラリー（3店舗以上の商品又はフード購入により景品プレゼント）

●問／遊佐ブランド推進協議会

☎・FAX72-3966

E-mail: info@yuza-brand.jp

庄内地域「道の駅」秋の大感謝祭

庄内地域の5つの「道の駅」、それぞれ自慢の味をワンコインでご提供！

庄内地域には、「あつみ（鶴岡市温海地区）」「庄内みかわ（三川町）」「月山（鶴岡市朝日地区）」「しょうない（庄内町）」「鳥海（遊佐町）」の、5つの道の駅があります。

今回、「道の駅」の魅力をもっと知ってもらうとともに、地元の方々への日頃の感謝を込め、おいしい料理を提供する連携イベントを開催します。

各駅とも、数量限定で無くなり次第終了。来場はお早めに！

◆ ワンコインふるまい内容 ◆



●11月16日(土)

道の駅「あつみ」10時～えび汁(限定200食)

道の駅「庄内みかわ」11時～庄内産もち米の「つゆ餅」「あん餅」（限定各150食）

●11月17日(日)

道の駅「月山」10時～なめこ汁(限定200食)

道の駅「しょうない」11時～山ぶどうジュース（限定150杯）

道の駅「鳥海」11時～豚汁（限定300食）

●問／「庄内道の駅連携協議会」

事務局：遊佐町地域生活課管理係

☎72-5883